

開成町地球温暖化対策実行計画

(区域施策編)

2024年3月

開 成 町

目 次

	Page
第1章 計画の基本的事項	1
1 計画策定の目的	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間、基準年度、目標年度	3
4 計画の対象とする温室効果ガス	3
第2章 計画策定の背景	5
1 地球温暖化の概要	5
2 地球温暖化をめぐる社会動向	13
第3章 開成町の現状と課題	21
1 開成町の地域特性	21
2 開成町における主な取組	27
3 開成町の温室効果ガス排出量の現状	32
4 開成町の再生可能エネルギーの現状	37
5 地球温暖化に関する意識調査結果	41
6 開成町の地域課題	45
第4章 開成町が目指すゼロカーボンシティ	47
1 温室効果ガス排出量の将来推計	47
2 削減目標	51
3 温室効果ガス排出量削減見込	52
4 開成町が目指すゼロカーボンシティ	54
第5章 目標達成に向けた取組（緩和策）	59
1 施策体系	59
2 目標達成に向けた取組（緩和策）	60
3 取組による温室効果ガス削減効果	76
第6章 開成町気候変動適応計画	77
1 適応に関する基本的な考え方	77
2 各主体の役割	80
3 将来の気候変動影響と取組（適応策）	81
第7章 推進体制及び進行管理	95
1 計画の推進体制	95
2 計画の進行管理	97

資料編	99
1 用語集	99
2 開成町気候変動適応計画に係る検討	106
3 開成町ゼロカーボンシティ創成会議	110

コラム	Page
温室効果ガス～7種類のガスの特徴～	4
SSP シナリオ～地球温暖化に伴う気候変動におけるすじがき～	6
RCP シナリオ～地球温暖化に伴う気候変動におけるすじがき～	12
GX～産業・社会構造のクリーンエネルギーへの転換～	16
ゼロカーボンシティ創成のシンボル～全国初 ZEB 庁舎の整備～	19
緩和策と適応策～工夫による両立～	20
家庭でできる脱炭素化の取組～デコ活の実践～	58
ナッジ～望ましい行動に向けた後押し～	63
デコ活～脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動～	64
WGBT～暑さ指数について～	91

【注】

1. 表及びグラフの数値は、四捨五入により合計値が一致しない場合があります。
2. 温室効果ガスは「千 t-CO₂」など、二酸化炭素以外のガス量も二酸化炭素に換算して表記しています。
3. エネルギー消費量は「TJ」など、熱量に換算して表記しています。
4. 本計画における「事業者」とは、第1次産業、第2次産業、第3次産業に関わる個人事業主、法人、団体を指します。また、特に第2次産業の製造業について、エネルギー使用量が1,500kl/年以上の事業者を「特定事業者」と言い、この特定事業者を「大規模事業者」、それ以外の事業者を「中小規模事業者」として表記しています。

開成町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定にあたって



『気候変動問題は人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」ともいわれています』（環境省サイト内「地球温暖化対策の動向」より）。近年、自然災害の頻発化や激甚化が顕著であり、我々も日々の生活において、気温の上昇や集中豪雨の頻度の増加などを身をもって実感しております。

この地球規模での課題に対して、国際的には、平成27（2015）年のCOP21、令和3（2021）年のCOP26などにおいて、気候変動の抑制を目的とする数々の合意がなされました。我が国においても、令和2（2020）年に「2050年カーボンニュートラル宣言」がなされ、令和3（2021）年には「2030年温室効果ガス排出削減目標」が設定され、そして、「地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が成立し、カーボンニュートラルに向けた具体的なロードマップが示されました。

この間、開成町におきましては、庁舎としては全国初の「ZEB認証」を受けた新庁舎が令和元（2019）年に竣工し、令和3（2021）年には「気候変動アクション環境大臣表彰の大賞」や「かながわ地球環境賞」を受賞いたしました。これらも契機として、町をあげて地球温暖化対策に一層の力を注いでまいりました。

平成28（2016）年度に「開成町環境基本計画」を改訂し、平成29（2017）年度「開成町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。令和2（2020）年には、「ゼロカーボンシティ」を表明し、令和3（2021）年度に「ゼロカーボンシティ創成補助制度」を創設し、ZEHや電気自動車、ソーラーカーポート等への積極的な補助を開始しました。その後も、「プラごみゼロ宣言」の表明、中小企業の再エネ導入や気候変動への対応を目的としたエアコン購入への補助、そして、脱炭素の取り組みの輪を広げるために「開成町ゼロカーボンシティ創成パートナー企業」として17社（令和6（2024）年3月時点）と協定を締結するなど、広範にわたり、対策を講じてまいりました。

人と自然が調和した田舎モダンのまち・開成町は、今後も、「地球温暖化対策に積極的な町」として、今回策定する「開成町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、創エネ・省エネ・蓄エネを一段と推し進め、令和32（2050）年のカーボンニュートラル実現に向けて、地球温暖化対策に取り組んでまいります。

結びに、この策定にあたり、貴重なご意見をいただきました開成町ゼロカーボンシティ創成会議の委員の皆様をはじめご協力をいただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

令和6年3月

開成町長 山神裕